

# 「あすなろ小箱」

～佐伯支援発：明日の成長へ向けての支援の  
小さなヒント集～

大分県立佐伯支援学校  
『教育相談だより』  
教育相談部 第4号  
平成29年12月11日

寒さがまたいちだんと厳しくなったこの頃。

クリスマスに冬休みと楽しみがいっぱいの12月。子どもたちは待ちきれない！といった様子で、毎日、わくわくしながら過ごしています。うんと冷える日もありますが、最後まで元気いっぱいにご覧したいと思います。今回は、4月から配置された、サテライトコーディネーターの先生から、それぞれのよさについてお聞きしました。



## こんにちは！サテライトコーディネーターです。



支援学校教員でありながら、週3日の小学校勤務を続けてはや9ヶ月が過ぎました。初めはよく分からなかった小学校のことも今ではだいぶ理解でき、支援学校と小学校の共通点や異なる部分も見えてきました。今回はそれぞれのよさについてお話したいと思います。

まず、支援学校の良さはなんと言っても特別支援教育の専門性です。全ての授業に対し、児童生徒1人ひとりに目標を立て、その子どもに適した支援を行えるのは支援学校の強みだと思います。

次に小学校ですが、一番の良さは「多くの友だちと学び合える事」だと思います。特に社会性については、ルールやマナーについて友だちに指摘されたり、逆に友だちを指摘したり……。4月は何かと言いかいになっていた子ども同士が、2学期の終わり頃になると仲良く遊んでいる姿をいろいろな学校・学年で見かけます。先生に言われてやるのではなく、友だちと学校で楽しく過ごすためにはどうすればよいかを、自分で体感しながら身につけているのを感じます。

ちなみに私自身は支援学校でも小学校でも、休み時間にサッカーやどんぐり拾いをして、給食時には会話を楽しみながらおいしい給食を食べています。書類作成も大事ですが、子どもの生活全体を見つめて、適切な支援や指導に結びつけていこうと考える毎日です。

### 教育相談の希望のある方

大分県立佐伯支援学校  
TEL 0972-28-3144

本多宏(特別支援教育コーディネーター)または教頭  
まずは、お気軽にお電話ください。





